

校区まちづくり協議会等での意見交換 開催報告

1 校区まちづくり協議会での意見交換の概要

開催日時：平成26年10月16日(木) 午前10時～

今回、地域ごとの子ども・子育て支援活動の把握やそれに伴う課題の抽出を目的として、校区まちづくり協議会を対象とした意見交換会を実施した。

意見交換会では、7～8月に実施した地域別ワークショップ等で抽出された「課題」や「地域としてできること」の意見を参考資料として提供したうえで、各校区での活動内容や、今後地域として子育て支援に関わっていく中での課題及び課題に対する解決策について、活発な意見交換がなされた。

◆地域での主な子ども・子育て支援活動

- 校区まち協やその他団体、学校等との連携のもと、登下校時の見守り活動や青色パトロールの実施、子どもたちも参加する防災訓練の実施により、子どもの安全・安心な環境づくりを促進。
- 放課後子ども教室の開催により、学習や遊びをととした子どもの居場所づくりをすすめる。
(活動内容：手芸・各種スポーツ教室・フラダンス・昔遊び・宿題など)
- 世代間交流として、ふれあい祭りや小学生と高齢クラブとの食事会(給食)の実施、その他わくわくプラザや農作業体験など、様々な交流により子どもと地域とのつながりを深める。
- 子育て支援広場「はとぼっぼ」の開催や、子どもがテーマの講演会開催など保護者への支援充実。

◆今後の子育て支援充実への課題・意見、解決策について

(共通的な課題・意見)

- こども会の加入率の低下、少子化に伴うこども会の存続危機。
- 地域での活動を行うスタッフの人材不足及び高齢化。
- 子どもが自由に遊べる場所や集まれる場所がないという、子どもの居場所の不足。
- 地域の親子イベントの開催にあたって、父親の参加数が少ない。

(課題に対する特徴的な取り組み)

- 新たにこども会を立ち上げる手法として、福祉委員会でこども会の運営を支援し、保護者の負担を軽減する取り組みが行われる地域もある。
- 子どもも参加する川での清掃活動の後に、清掃後の川での金魚のつかみどりをするなど、地域の活動と子どもの遊びの「場」づくりを一体的に実施するとともに、親子と地域の交流をすすめる。

(今後、必要な取り組み)

- こども会の加入率減少は地域共通の課題であり、根本的な原因を突き止め解決する必要がある。
- こども会の活動活性化に向け、こども会とジュニア会の活動をうまく活用し、年上の子どもが年下の子どもの面倒を見るような仕組みをつくる必要がある。
- 親子イベント開催の際に保護者への積極的な声かけを行い、地域の活動への参加を促すべきだ。
- 地域活動を行うスタッフを確保するため、地域の各種団体への働きかけにより人材確保を目指す。

2 八尾市PTA協議会代表者交流会

開催日時：平成26年9月18日(木) 午前10時～

校区まちづくり協議会での意見交換会に加え、9月の八尾市PTA協議会の代表者交流会においても、「子どもたちの自主性や主体性を育むために～PTAと学校・地域・行政とともにできること～」をテーマとして意見交換会を実施した。意見交換の中で出された主な意見を以下のとおり記載する。

(主な意見)

- 地域との交流を増やし、子どもも大人も住みよいまちづくりをしていかなければならない。
- PTAでの活動に加え、地域での活動を行うということに、負担を感じることもある。
- 子どもを主体として、子ども・学校・行政・地域がうまくバランスをとる仕組みがなければ、PTA役員の担い手が少ないという課題がある中、PTAの存続に支障をきたす可能性がある。